

第1章 病虫害発生予察事業等植物防疫関連事業の具体的内容

1 病虫害発生予察事業

植物防疫法第23条（国の発生予察事業）及び同法第31条（都道府県の発生予察事業）に基づき、指定有害動植物及び重要病虫害を対象として発生予察を行い、精度の高い発生予察情報を提供した。

1) 指定有害動植物及び県重要病虫害の発生予察

指定有害動植物81種及び重要病虫害88種を対象に、乾式予察灯6カ所、発生予察ほ192カ所（水稻39カ所、麦20カ所、大豆15カ所、その他作物118カ所）及び巡回調査ほ等を定期的に調査した結果や、病虫害防除員、関係機関等との連携による現地情報や各種気象情報等を総合的に分析検討し、農作物の病虫害発生予察を行った。

2) 病虫害発生予察情報の提供

「植物防疫事業実施要領の運用について」（昭和60年8月26日付60農蚕第4430号通知）に基づき、「発生予報」を毎月1回提供したほか、「特殊報」を3回発表した。また、県独自の情報として「植物防疫ニュース」（速報）を11回発表したほか、主要な病虫害の発生状況をマップ情報として提供した。

これらの病虫害発生予察情報は、経営技術課、農業試験場、（社）栃木県植物防疫協会及び全農栃木県本部等で構成する「病虫害防除対策会議」を開催し、決定した。

なお、すべての情報は「ホームページ」及びメール、ファクシミリを活用し、関係機関・団体及び生産者等に対し提供した。さらに、本年度から携帯サイトを開設し、「発生予報」の迅速な提供を図った。

2 指定有害動植物等発生予察効率化の推進

精度の高い予察情報の提供と適正な病虫害防除を推進するため、発生予察手法の高度化や各種の調査を実施した。

1) 薬剤感受性調査

(1) ダイズ紫斑病菌薬剤感受性検定

(2) トマト灰色かび病薬剤感受性検定

2) ヒメトビウンカ縞葉枯ウイルス保毒虫率調査

3) 栃木県におけるミナミキイロアザミウマ生息状況調査

4) 農業振興事務所との共同調査

(1) 水稻ヨコバイ類発生実態調査

(2) フェロモントラップによる斑点米カメムシ類発生状況調査

5) 農作物適用農薬調査

(1) 水稻ウンカ類に対する受託調査（MN-08粒剤）

(2) 水稻ウンカ類に対する受託調査

（HM-0853フロアブル、HM-0854フロアブル、アプロードスタークルゾル）

(3) 水稻ツマグロヨコバイに対する受託調査（ワンリード箱粒剤08）

(4) 水稻ツマグロヨコバイに対する受託調査

（HM-0853フロアブル、HM-0854フロアブル、アプロードスタークルゾル）

3 侵入警戒調査・輸出検疫

1) チチュウカイミバエ侵入警戒調査

2) りんご火傷病発生警戒調査

3) 台湾向けなしももシンクイガ発生予察情報提供

4) EU諸国向け盆栽等栽培地検査（対象：鹿沼市）

4 病害虫防除員の設置

植物防疫法第33条に基づき、病害虫防除員(61名)を委嘱した。病害虫防除員の主な任務は以下のとおり。

- 1) 現地の病害虫発生状況の調査報告(イネいもち病、縞葉枯病、カメムシ類、なし黒星病、いちご炭疽病、ハダニ、トマトタバココナジラミ、灰色かび病、にら白斑葉枯病)
- 2) 病害虫防除及び農薬適正使用の指導。
- 3) フェロモントラップ活用害虫発生調査
病害虫防除員による発生状況調査(ニカメイガ2か所、ハスモンヨトウ、チャバネアオカメムシ、オオタバコガ各4か所、クモヘリカメムシ・アカヒゲホソミドリカスミカメ6か所)。

平成21年度病害虫防除員設置状況

(人)

地区名	市町名	水稲	いちご	冬春トマト	にら	なし	フェロモントラップ
河内	宇都宮市	1		1			2
	上三川町	1					2
上都賀	鹿沼市	1			1		1
	日光市	1					1
	西方町	1					
芳賀	真岡市	1	1				2
	益子町	1					
	茂木町	1					
	市貝町	1					
	芳賀町	1				1	1
下都賀	栃木市	1	1				
	小山市	1	1				2
	下野市	1					
	壬生町	1					
	野木町	1					
	大平町	1					
	藤岡町	1					
	岩舟町	1					
都賀町	1						
塩谷	矢板市	1					2
	さくら市	1			1		1
	塩谷町	1					
	高根沢町	1					
那須	大田原市	1				1	2
	那須塩原市	1					1
	那須町	1					1
南那須	那須烏山市	1					1
	那珂川町	1		1			
安足	足利市	1		1			
	佐野市	1				1	1
計		30	3	3	2	3	20
合計		61					